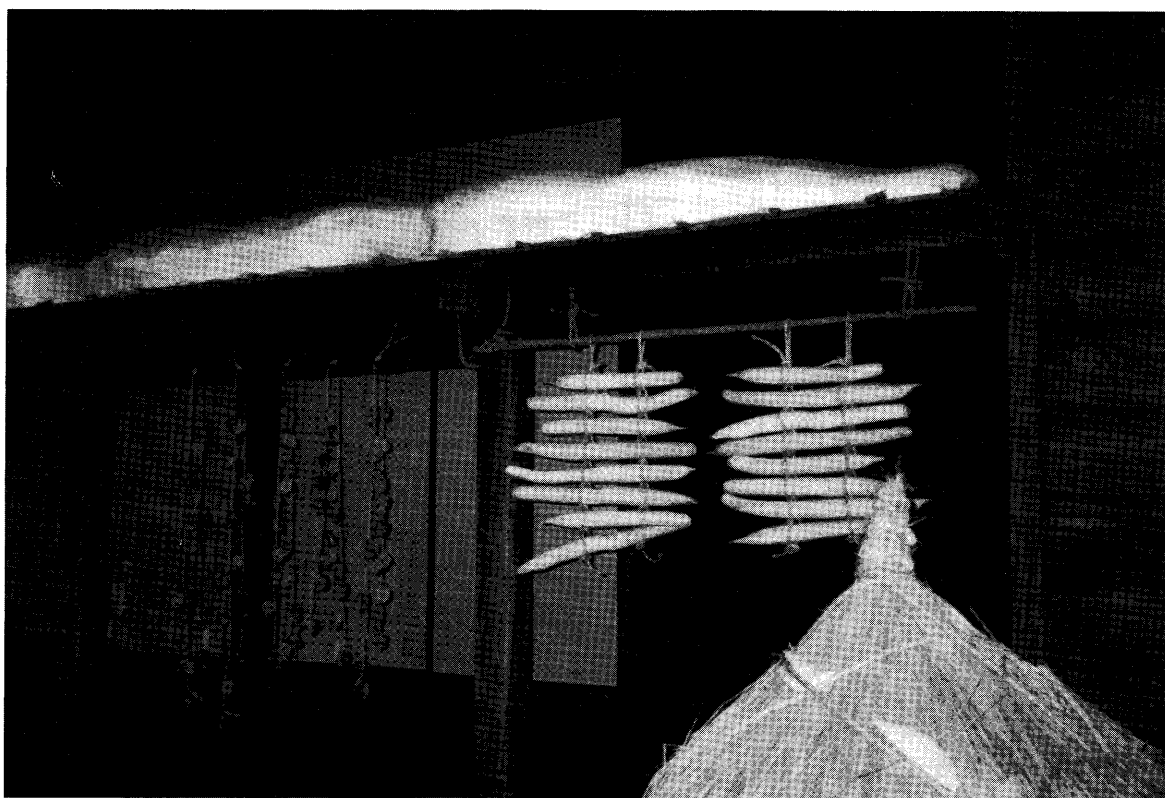


臥龍が丘は緑なり

村松高校東京同窓会会報
平成13年(2001)新春号



「越後の民家」新潟ふるさと村・展示模型

会報30号発行を祝う

東京同窓会長 佐伯 益一（旧中27）

「三十にして立つ」という古い言葉がある。

これは、孔子が自分の人格修養の過程を回顧した言葉の一節で、三十歳で独立する。すなわち、一人前になるという意味である。私どもの東京同窓会の発行する会報、「臥龍が丘は緑なり」も昭和62年2月に創刊以来今回でもって30号となる。よくぞ一回も休まず続けて来たものと感慨深い。ようやく一人前となったことである。

この陰には役員諸氏の涙ぐましい並々ならぬ努力があったことは否定できず。また会員始め外部の方々からも多くの寄稿、お便りを頂いて誌面を飾っていることにもあらためて感謝申し上げたい。最近は部数を若干増やし外部の方にも広くお配りしているが、中々評判が良い。礼状もたくさん頂く、有難いことである。

さて 今年（平成13年、21世紀の始まりと世間は騒いでいるが私には、なんの感想も無い。月日がたてば当りまえと単純に考えているせい。寧ろ会員の皆さんが、たとえ足腰が弱くなっていても元気で越年されたことをお慶びしたい。私はお迎えが来るまで元気でお役に立ちたいと思っている。それが私の生き甲斐でもある。

話を変えるが、今年（平成13年）は母校創立90周年の記念の年。私が松中に入学したのが、昭和12年である。当時は、県立の中等学校は五年制で、工業、商業校を含めて16校か17校しかなかった。他は三年制の実業学校であった。新学制となってすべて三年制となったが、今では、県立の高校は百を越える。創立80周年とか90年とかは、もう珍しくない。しかし我らの母校は旧中以来の創立である。これは祝わざるばなるまい。

東京でも何かお祝いでもと考えている次第である。東京同窓会では毎年2回発行する会報に、年間の収支と大会の収支を一円に至るまでこと細やかに発表している

先般の大会で母校から三人の来賓をお迎えしたが、その後、村松支部発行の会報「飛龍」を頂いた。その中で「東京同窓会に出席して」の一文があつた。嬉しく読ませて頂いたが読み進むうちに「オヤ？」と思う所があった。後段に東京同窓会の会計について細かく書いてある

そして「本部としては何とぞよろしくご寄付を」と結んであった。これは頂けない。何となれば役員が手分けしてワープロを打ち、編集をし、印刷所への支払いを少しでも安くしようと努力し、且つまた多くの会員からの会費、善意の寄付金の蓄積でもあるからである。この文は他人の懐へ手を突込むようなものだと言極言する役員も居たことを敢えて付記しておきたい。

昨年（平成11年）の本部総会で 母校創立90周年記念事業実行委員会の委員氏名が発表され、また本年3月発行の会報「山城」にも掲載されていた。私はこれを見て驚いた。殆んどの人が在村松の人である。例外は五泉の石塚氏であるが、この方は前副会長であるせい。か。

更に驚いたことには、募金趣意書の協力依頼者の中に私の名が載っていることである。私は要請されたことも無ければ、承諾した覚えも無い。新潟、新津、津川の各支部長さんには、どう対応したのであろうか。無いとすれば、これは筋の通らぬ話である。事業計画にしても、多少の経費を要しても各支部長、幹部の方々に集まってもらい、英知を出して協議すべきではなかったのでは、と、さえ思う。

次に事業計画について私見を述べる。少し酷な言い方になるかも知れぬが、敢えて言わせていただく。

まず第一に 学校の校舎前道路側の生垣を煉瓦張りの石塀にするとの案には反対である。募金趣意書にも「母校が緑濃き松と共に県下まにみえる素晴らしい環境の中、幾多有為の人材を育てて来た」と書いてあるではないか。なんで今更、たとえ杉であろうとも折角の緑の生垣を煉瓦に変える必要があろうか。イラストを見ると煉瓦塀は外から侵入し易いが生垣は侵入し難い。維持管理が困難とあれば生徒の学業の一環として、日をかけても奉仕作業で行えばよい。必要とあらば造園屋の使うチェーンソーを提供してもよいと考えている。指導してくれる庭師は何処にでも居る筈。少子化に起因する県立の学校の統廃合の問題が最近随所で論議されていることを思い起していただきたいし、学校の施設、敷地等はすべて県の管理下にあるということも知っていただきたいと思う。

第二に 図書室のスチール製の書棚を木製に変えるのは無駄である。東京から随分と図書を寄贈しているが、その成果、反応がさっぱり分からないというのが理由ではない。生徒自身に暖かみを感じさせるというが入れ物よりも、その中身が重要であろう。

また 個人用のロッカーは必要と思うが、よほど管理を良くしないと事故や犯罪に結びつく恐れがあることを付記しておく。同窓会員名簿については既に1999年版が出ているので、これは不要と考える。

以上縷々述べてきたが、もしも私の考えが実現したら5千万円もの基金は必要としないし、今時、そんなにも集まらぬと思うが如何なものか？募金額が一口5千円、できるだけ2口以上をお願い。ともあるが、これは強制と誤解される恐れもある。私の頂いた村松支部「飛龍」に載った記事、印刷物等は全て（案）として善意で読んだと理解していただければ幸いである。

他は特に言うことはないが委員でないので、実行委員の方々の苦勞に感謝するのみ。盲言何卒、ご海容の程を。



第43回・東京同窓会出席者名簿

平成12年6月3日(土) 日比谷・リトルパイレーツ

村松高校東京同窓会

来賓 (5名)	旧中学校 (9名)	高校男子 (52名)	高校女子 (19名)
同窓会 副会長	22 亀嶋 謙	02 青木 猛	08 伊藤 秀雄
藤田 曜輔 様	26 黒井 伊三郎	02 青木 政海	08 伊藤 輝豪
渡辺 照男 様	26 武藤 伊三郎	02 篠塚 恒正	08 関根 正輝
村松高校 校長	27 佐伯 益一	03 山田 知明	08 松尾 春雄
杉原 雅昭 様	30 五十嵐 一郎	03 池田 生夫	08 関根 清
同窓会 事務局	30 佐藤 豊夫	03 小田 八郎	08 石黒 四郎
伊藤 ヒサ 様	33 伊藤 勇五	04 大島 惣一郎	08 井筒 孝宏
ROX・ニューオータニ支配人	33 伊藤 和男	04 岡村 嘉治	08 今井 保夫
関根 淳徳 様	旧女学校 (7名)	04 加藤 卓文	08 新井 鶴宮
	25 一氏 愛子	04 下野 幹司	08 宮沢 正由
	岡本 早子	04 鈴木 多喜	10 田代 信雄
	小林 月子	04 鈴木 喜男	10 笠原 久
	酒井 玲子	05 新井 康夫	12 武藤 正昭
	佐藤 玲子	05 小金 村崎	12 山田 俊治
	鈴木 節子	05 山崎 健	12 小笠原 一憲
		06 五十嵐 英輔	16 青木 敏和
		06 佐久間 越允	18 笠原 静正
		07 笠原 大郎	18 藤原 義和
		07 八木 一郎	18 笠原 秀英
		07 梁 錦二	18 高岡 秀英

東京同窓会・第43回大会決算書

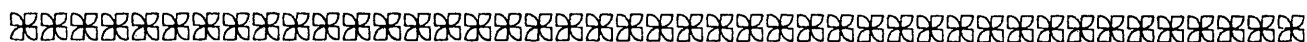
平成12年6月3日(土) 日比谷・リトルパイレーツ

村松高校東京同窓会

収入の部 (単位:円)	支出の部 (単位:円)
① 懇親会費 男子 60名 @10,000=600,000 女子 27名 @ 8,000=216,000	① 準備費日 打合せ費 15,820 軽食費 6,736
② 祝儀 本部同窓会 4名 40,000 ROX/関根様 10,000	② 通信費 郵便切手代 25,600 返信ハガキ代 16,000
	③ 印刷費 2,410
	④ 懇親会費 620,500
	⑤ ROX関根様記念品代 4,135
	⑥ 抽選会賞品代 24,396 越後杜氏 9,326 管名岳 8,368 ワインセット 9,702
	⑦ 来賓対応費 9,975
	⑧ 出演謝礼金 50,000
	⑨ 交通費 4,380
	⑩ 雑費(写真代ほか) 11,920
合 計 866,000	合 計 791,872
収支差引残高 74,128	

◎アトラクションの抽選会には多くの会員の方から景品をご寄贈いただき有難うございました
◎大会収支残高、金74,128円は一般会計へ繰入れいたしました

◎年会費、寄付金を頂いた方々の、お名前・金額は会報31号に掲載させていただきますのでご了承下さい。



盛大だった村松高校東京同窓会第43回大会

県立村松高校東京同窓会の第43回大会が六月三日午後二時より日比谷交差点角、朝日生命ビル地下「リトルパイレーツ(ニューオータニ系)」で開催された。

出席者は男女合わせて八十七名で例年より若干下回ったが母校からは、今春急逝された内田力校長の後任として県立松代高校長から着任された新発田市出身の杉原雅昭校長、同窓会本部の藤田、渡辺両副会長、伊藤事務局長の、お三人が来賓として出席された。

大会は挨拶、祝辞等すべて型通り進行、用意した議案も異議なく承認。役員改選では佐伯会長を再任。他の役員も全員留任となった。佐伯会長は「集合体はジグソーパズルのようなもの、一つが欠けても絵にならぬ、お互いが夫々の持ち分を生かし、しっかり組み合わせさせてこそ始めて絵になる」と強調、会員の団結を要望した。懇親会はビクター専属の同窓杉幸子さんの熱唱で始まり、大会初の試みである深見幹事のピアノの弾き語り、大橋亜希子さんのピアノ演奏に感嘆の声しきり、会場の

雰囲気とピッタリであった。アルコールの進み具合と共に熱気は益々上り、やがて抽選会となる。

会員持ち寄りのプレゼント賞品や、会で用意した賞品が全員に洩れなく行き渡り、むしろ余る程であった。後は校歌、応援歌の大合唱、会長の手締め、校長発声による万歳三唱で午後五時半、今年度大会の幕を閉じた。

二次会は別室で約四十名のカラオケ大会となった。しかも時間は無制限ということで、さすがに皆さん歌い疲れたご様子であった。感じの良い店であったが残念ながら、この店も六月末をもって閉店となる。遠く五泉、村松方面から特別参加された特に女性同窓に厚く感謝申し上げたい。

特にこの日、我々が長年利用してきた浅草のR O X内ニューオータニが六月末日をもって閉店する事になり、支配人として東京同窓会に多大な貢献をされてきた特別来賓、関根淳徳氏にその労を謝し、盛大な拍手とともに記念品と感謝状をお贈りした。



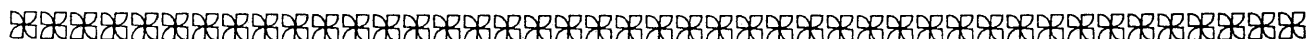
佐伯会長の挨拶(会場・リトルパイレーツ)



杉 幸子さんと、ご満悦の佐伯会長



校歌・応援歌を熱唱



抽選会に景品寄贈された方々 (敬称略)

武藤 三郎 (中2 6)	佐伯 益一 (中2 7)	伊藤 勇五 (中3 3)	斉藤 和男 (中3 3)
青木 猛 (高 2)	篠川 恒夫 (高 2)	梁取 正通 (高 2)	真島 節朗 (高 2)
鈴木 健司 (高 4)	佐久間 英輔 (高 6)	沢出 赳允 (高 6)	笠原大 四郎 (高 7)
関塚 豪 (高 8)	山崎 輝雄 (高 8)	石黒 四郎 (高 9)	増田 訓英 (高 9)
大橋 貞夫 (高1 0)	田代 信雄 (高1 1)		
岡本 和子 (女2 5)	小林 早月 (女2 5)	佐藤 玲子 (女2 5)	鈴木 節子 (女2 5)
白石 キヨ (高 3)	向山 律子 (高 5)	深見 洋子 (高 7)	片柳 ムツ (高 8)
木村 孝子 (高 8)	山西 愈佐子 (高 8)	小島 典子 (高1 0)	真水 道子 (高1 0)
近藤 燦子 (高1 2)	徳永 道子 (高1 2)	中島 和子 (高1 2)	

◎ご協力ありがとうございました。

◎なお、当日受付混雑のため記載もれありましたら
お詫び申し上げます。悪しからずご了承下さい。



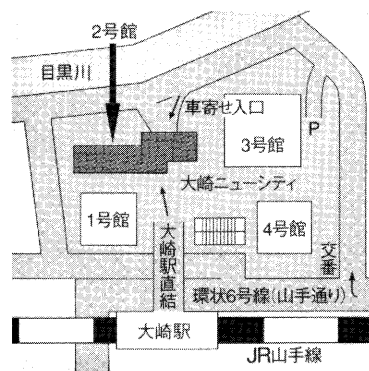
日比谷・朝日生命ビル
B1、リトルパイレーツ

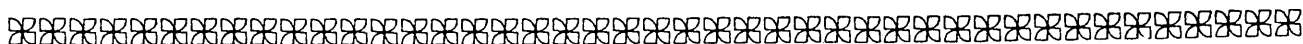


応援歌を歌う旧中卒業生

平成13年度 東京同窓会開催のお知らせ 村松高校東京同窓会第44回大会

- 月 日 平成13年6月2日(土)
- 時 間 午後2時より
- 会 場 ニューオータニ イン トーキョー
- 住 所 品川区大崎1丁目 大崎ニューシティ
(JR山の手線・大崎駅東口すぐ前)
- 電話番号 03-3779-9111





本部同窓会総会に出席して

東京同窓会常任幹事 深見 洋子（高7）

8月12日（土）に開催された村松高校同窓会総会に出席するため、佐伯会長と共に久しぶりに帰った村松は思いの外、涼しかった。

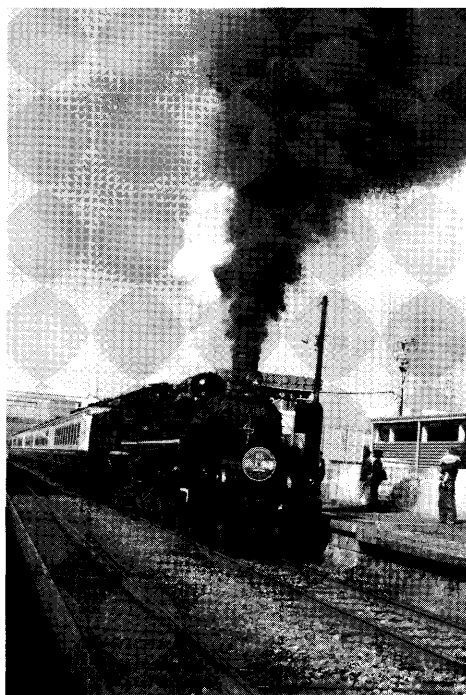
毎年8月、本部同窓会に出席するようになって果たして何年になるのだろうか？ いつの間にか私の年中行事のひとつになってしまった。

はじめて出席した頃、同期生は誰も来なかったが、ここ数年は、一人、また一人と逢えるようになった。またこの時期を縁に同級生達が集まって、一夜を飲み語り合えるのも楽しい。

今回の総会は、来年迎える母校の創立90周年記念へ向けての話が中心になるだろうと思いながら、会長に従い会場の「新瀧」へ行く。例年のごとく、型通りの挨拶、決算報告、予算審議と質問もなく続き、創立90周年事業に関する「原案」が配られたが……これは、あくまでも『原案なのだ』と思うことにした。

今回の総出席者は学校関係者も含めて41名、親睦会に入った時には更に数人が帰ってしまい、誠に閑散としたものになってしまった。

……ちょっと寂しくはありませんか？……



SLばんえつ物語号（JR・五泉駅にて）
滝沢信喜氏（高10、新津在住）撮影

お便りの中から

順不同・敬称略

佐藤 榮策（旧中26）

◎佐伯会長の軽妙な筆致の墨痕鮮やかに認められた「臥龍が丘は緑なり」29号を送って頂き有り難とう。

表紙の文字を見ただけで“ゾクゾク”っと、身震り武者震るいがしますが、それだけ思い出の多い松中時代だったと云うことなのでしょう。あの「臥龍原頭幾星霜」で始まる応援歌は、我々松中健児の青春の血を沸き立たせてくれたし、いまだに私たちの体の中に生き、心の中にも生き続けて私たちを支えてくれているのが良くわかります。今は只々松高に学ぶ若き諸君が堅実をモットーとする建学の精神を忘れずに奮闘してくれることを祈るばかりです。私がしみじみ思うのは若き時代と同じ学び舎で机を共にするだけで“意義大いにあり”ということです。

それが只今、同窓会報を読ませて頂いている老いの身に懐かしさとなり、有り難さとなって感じられてくるのだと思います。松高の末永い発展をお祈りしています。

青木 敏和（高18）

◎私がこの紙面に登場できたのは、佐伯会長との出会いからと思う。私が現在住んでいる静岡県函南町は、昭和60年より転勤で来ています。その年に新潟県人かなみ会が発足され「新潟大好き人間」の私も会員になりました。それまでは東京新潟県人会にも入会していたものすから、その会員名簿で佐伯会長を知り、それが縁で村松高校東京同窓会に出席するようになり、当時私の様な若さで出席する人はおらず、「来年は誰か同期生でも連れて来い」といわれ、毎年一人で寂しい出席でしたが今年6月の43回大会には6名が出席いたしました。

高校4回卒の鈴木多喜男さんに電話する機会があり、私の同期の佐々木秀和君と斉藤正義君の二人が幹事を勤めるとのこと、彼等に期待したいと思います。

私は伝統ある村松高校に入れたことを誇りに思いますが、多分最下位で入学し最下位で卒業した劣等生でしたでしょう。私の親戚に旧中1回卒の沢 英三（元インド大使）、11回の沢 英四郎、16回の鈴木 正三、旧高女1回卒の沢 秀子、6回の沢 ジョウ、8回の小鍛冶 ヨシコ、9回の青木 チヨ（母）、高校7回の梁取サキ、12回の小鍛冶 健一、沢 雅久がおります。

これからの村松高校が嘗ての文武両道と言う事はなくても、元気で社会で活躍できる人材育成をやり、多くの教育者を生んだ母校の復活を期待する者です。そして、村松高校ここに在りを見せて欲しい。

お便りの中から

順不同・敬称略

杉原 雅昭（母校・校長）

◎ 過日には東京同窓会大会に参加させていただき大変ありがとうございました。松高東京同窓生の母校に寄せる想いを改めて感じさせて頂きました。また同時に母校の益々の発展のために、その責を強く感じた次第です。

大変お世話になったばかりでなく、お土産まで頂戴し恐縮しております。またの再会を楽しみにお待ちしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

亀嶋 健 (旧中22)

◎ 第43回東京同窓会、相変らず盛大でよかったですね。当日、私が光栄にも乾杯の音頭を取らせて頂いて感激でした。私も到頭そんな年齢になったかという思いもしましたが、段々と知っている人が少なくなってゆくのが少々寂しかった。続いての会長職、ご苦労さまだが、母校のため、東京同窓会のため宜しく頼む。会報を多く頂き、早速友人に全部送ったが、さぞ喜んでいることだろう。臨席のROXニューオータニ支配人の関根さん、大変感謝していたよ。君らしい良いことだ。(会長 長)

酒井 忠 (旧中24)

◎ 会報ご送付くだされ厚く御礼申し上げます。

特に小生撮影の「愛宕山よりの展望」が表紙に掲載され驚きと喜びに浸っております。現在のアングルは一変した光景でしょうが、公園の桜の木は大きく成長して見事な花を咲かせていることと思います。機会があれば是非同じアングルで写真を撮ってみたいものです。

中村 市雅一郎（旧中26）

◎「臥龍が丘は緑なり」「松城」を有り難く拝読、誌上を通して常日頃の意気軒昂なご活躍を拝察しています。貴稿「人の心を掴め」「旧陸軍墓地」をはじめ、全てを拝読しました。野営、飯盒炊餐、実弾射撃、ばんばんなど懐かしい記憶が蘇って来ました。また県人会誌の五泉市の編集後記も拝読。六月三日の東京同窓会大会も盛況で何よりでありました。黒井伊作氏も初めて出席したそうですね。福原平八郎氏とは依然文通を続け、いつも東京の様子を教えてもらっています。(中略)平成十三年元旦を期して黒埴町と新潟市が合併しますので、それまで自治会でも種々の仕事があり中々多忙です。

私も「見るより聞く、聞くよりも読む、読むよりも書く」という活動に留意して頭脳の活性化を願っております。衷心よりご壮健をお祈り致します。

千代 國一 (旧中18)

◎ 岡村三夫氏の「千代國一氏の歌集を読む」の寄稿を読ませていただきました。誠に有り難いことで厚く御礼申し上げます。私の十一冊の歌集には六千種の歌があります。その中から十三首を抄出してくださった岡村氏のご好意とその努力は大変なもので、しかも抄出された歌は私の歌集の中では良い歌に属します。岡村氏の鑑識に深い敬意を表します。私の謝意を佐伯会長からお伝えおきくだされば誠にありがたく思います。

『水草の川』が短歌新聞社賞を貰ってから、原稿の依頼が一層増えまして、その作歌に没頭しております。

(中略) 賞を貰うことは有り難いことですが、それに
 えるには一層良い歌を作らねばなりません。新聞にも書
 けましたが、それが難しいのです。自からを鞭打つし
 か方法はありません。本当にありがとうございました。

佐野 宏 (旧中20)

◎ 貴同窓会報ご恵送下され有り難く拝読いたしました。益々ご盛会の様子で大変おめでたいことです。それと共に中心になっておられる役員の方々の活躍に対し敬服致しております。当同窓会も小生老齡のため、会長その他役員と共に役員を辞して次の方が役員会で決まりました。二人とも小生同様よろしく願い申しあげます。

・会 長 齊藤 博（旧中30）新潟市楚川418

・副会長 佐藤 茂（高2）新潟市上所中1-6-11
併せて貴同窓会の益々の隆盛をお祈りいたします。

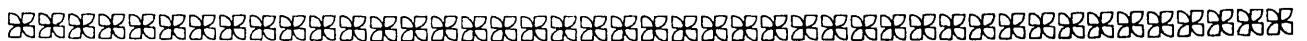
(前新潟支部長)

黒井 伊作 (旧中26)

◎ 六月には東京同窓会に初めて加わり、昔を語る多くの人に会うことが出来、明年も邂逅を約束しました。その後、七月始めに26回卒の同級会が越後湯沢でありました。僅か11名ばかりでしたが出席者も一意息災、少数精鋭なりを自認して意気軒昂たるものがありました。十月から毎月一回、計六回の長岡「あさひ日本酒造塾」に入塾します。ここの取締役が元県醸造試験場長で宇都宮の同窓です。じっくり体験して「こだわりの自分酒」を汲むつもりであります。

武藤 三郎 (旧中26)

◎ SLばんえつ物語号のモノクロ写真は実に魅力的でした。昔の遠い思い出が強烈に蘇ってくる思いがいたします。東京同窓会に駆けつけてくれた五泉の黒井伊作君から便りがありまして、色々の会合にも出るが東京同窓会の不思議な魅力にとりつかれたとありました。



お便りの中から

順不同・敬称略

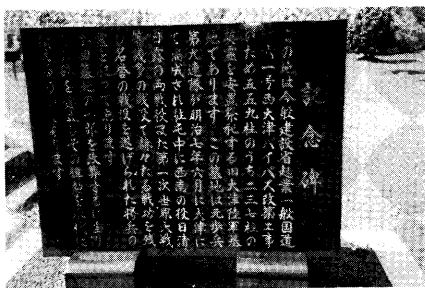
伊藤 政雄 (旧中26)

◎ 松高東京同窓会誌を拝受いたしました。毎度私ども遠隔地の者に、ご配慮賜り恐縮です。扱て 早速ですが東京同窓会長、佐伯氏の「旧陸軍墓地はどうなった？」の記事を拝見し、かねて関心を抱いていた私は全く同感を深くして早速、筆をとった次第です。実は三・四年前になりますが、陸軍墓地に関心をもっていたので忘れていた村松練兵場の東南端の松林に囲まれた場所で、実弾射撃場に隣接して陸軍墓地があったことを憶い出し盟友佐藤栄作氏にその消息を尋ねましたところ「射撃場も、同墓地も疾うに消滅して、現在は老人ホームが建っている」との回答をいただき「やはり、そうであったか」の感を深くいたしました。

申すまでもなく陸軍墓地は当該部隊創設以来の戦死された方々の霊を祀った墓地であり、戦前は毎年定期的に厳かな慰霊祭が催され、遠隔地からのご遺族の方々も参列されたと伺っていました。戦後の日本は、平和憲法が制定され軍備は勿論、戦争はしないことを誓った訳ですが、国の為に戦死した軍人の墓や忠魂碑まで撤去することに大いに疑問を抱いている次第です。

私が嘗て滋賀県大津駐屯地自衛隊に在職中、旧歩兵第九連隊の陸軍墓地(比叡山麓)が雑草に覆われ、見る影もないので会議の結果、訓練の一貫として新隊員約三百名を動員。半日を費やして奇麗に清掃したことがあります。清掃するに際し市役所並びに県庁に所轄官庁の照会をした結果、何処にも該当せず国有地として財務局の出先機関として県庁の一部が財産管理していることだけが判明したもので墓地の管理は全く放任されていました。

(現在は立派に整備されている)以上の経緯から嘗ての忠魂碑や陸軍墓地は全く無視され大方無くなっている処の多いのが残念です。(武藤氏宛)



旧大津陸軍墓地記念碑

世田谷区在住 祖父江 静子

◎ 前回は戦死した勇士のお墓が無くなってしまったお話など単に歴史がお好きだというだけでなく暖かい佐伯さんらしい発見で皆さんの知るところとなり、他にも、御活躍の記事、嬉しく読んだものです。

渡辺 照男 (旧中31)

◎ この度は松高東京同窓会第四十三回大会が、盛大に挙行されましたこと、誠におめでとうございます。

多くの会員の皆様方が和気あいあいに語り合います素晴らしい大会にお招き頂き、ご高配も賜り有り難うございました。初めて楽しい雰囲気接し、感じ入るばかりであります。一緒に学んだ友、先輩、そして私には中学校で教えた方々が十名程おられて懐旧談に花を咲かせる事も出来ました。また佐伯会長さんのもと組織を生かした動きをなさっておられた各役員の方々が羨ましく思われました。少しでも東京同窓会にあやかりたいと願っております。これからもご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。くれぐれもご自愛くださいますように。

(同窓会副会長・村松支部長)

市川 昭二

◎ お便りと「臥龍が丘は緑なり」二千年大会号を頂戴いたしました。いつも お心に掛けて頂き有り難うございます。岡村さんや池田さんも登場して来てびっくりしましたが、佐伯さんの懐の深さを感じました。

私の感じてることを池田さんが余すところなく語っておられ「ソーダ!ソーダ!」と思いました。佐伯さんが秀れたリーダーとしてだけでなく書き手としても会報の柱だという事がわかります。

「ちょっとどうでもいい話」実に痛快でした。私は中魚沼(十日町)で育った東頸城の者です。町村合併でもあれば東魚沼なんてのも有り?などと思い出しながら笑い出しました。私どもの十日町の東京同窓会の会報など、見た事もない者からすると二十九号というのは何と素晴らしい歴史の重みと感じます。貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。(東京新潟県人会広報委員)

中村 悦子

◎ この度は村松高校東京同窓会誌をお届け頂きましてありがとうございました。早速、主人の仏前に供え皆様方のご活躍を報告させていただきました。お集まり頂いた懐かしい方々のお名前を思い、皆様の御健康を心よりお祈り申し上げます。(故中村倉吉氏夫人)

白石 キヨ (高3)

◎ 第43回の東京同窓会に参加することができ、会長始め皆様の元気なお姿にお会い出来て、本当に嬉しく感謝しております。盛大な楽しい同窓会。来年も楽しみにしております。先般私たちの同期会で月岡温泉へ行ってきました帰りに友人の三川村へ寄り森林浴してきましたふる里はいつ行っても良いですね。

◎他にも多くの礼状を頂いておりますが同様の文面が多く、紙面の都合で割愛させていただきます。無しからずご了承下さい。(広報委員会)

酒宴ともなれば放歌高吟珍芸続出抱腹絶倒、夜の更けるを知らず。この日、我が腹中に納まりたる銚子102本、ビール30本、ドリンク類10本、よくぞ飲みたりと存ず。来年は喜寿の年なれど喜寿など何処吹く風の思いなり。翌朝もまた飲む、午前9時の臨時便に間に合すべく宿を出立、遊覧船にて奥阿賀野川を遡る。秋色未だ定まらず錦秋を楽しむこと叶わずとも兩岸の深緑蓋し壮観なり。

顧みればこの度の会合は誠に愉快、幹事のやり甲斐もありと深く感じいる次第。最後に各員一層奮励努力、常に健在なれと祈る。 (幹事 佐伯)



…ト野駅から九段まで…



よくぞ飲んだり・記念写真（きりん山温泉・福泉にて）

同期会・クラス会

◎旧中26回 同級会

7月4日～5日、湯沢へ行って参りました。今年は体調不良など健康上の理由で不参加が多く、11名の同級会でした。それでも例によって大いに盛り上がり、楽しい集りになりました。来年は新発田の近藤君が幹事を引き受けてくれましたが、彼の顔が効く“瀬波温泉”が企画にあるようだと思われました。

お互い健康に注意して元気で再会できるのを期待しています。幹事から記念写真を送るよう頼まれましたので同封しましたが、老いて益々意気軒昂の面々を御覧下さい。黒井君が東京同窓会の大会に出席して随分楽しんで来たようですが、同級会にも出席してくれましたので、色々とお話を聞かせてもらいました。羨ましいほどの盛会だったそうですが、愈々のご発展を祈っております。

なお、訃報ですが、長谷川富一君が、去る5月に胃癌のため亡くなりました。医者でも病気に勝てなかったと思うと悲痛の極みです。故人のご冥福をお祈りします。

(村松在住 梁取 俊武)



◎旧中30回 同級会

昭和16年入学、20年卒業(4年制)の同級会は、9月29日午後6時から月岡温泉「ホテル清風苑」で行われました。今回は新津地区が幹事団となり企画運営にあたり、27名(うち夫人同伴1人)が参加された。

この一年の間に4人の方が亡くなられ、参加者も減少傾向ですが参加された方々は、いずれもお元気で(県外から7名参加)1年ぶりに会う方も数年ぶりの方も話題

は尽きず、芸妓さんの勧め上手もあって酒も進み、あっという間に時が過ぎ、最後は応援歌をメドレーで斉唱し、次回当番地区を代表して林 寛さんの音頭で万歳三唱をし閉会となりました。

翌日も快晴で、朝食後9時から9時半、お互いに健康で再会することを約して別れを惜しみつつ、それぞれ帰途につかれました。(幹事 金子 欽一)

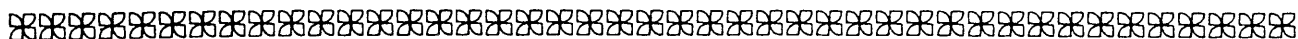


松中同級会

平成12年9月29日

ホテル清風苑





旧女学校 25 回卒クラス会

◎平成12年5月25日、村松高等女学校・25回卒業のクラス会が、田上温泉「若竹」で開催されました。

古希を迎えた“オバサン”いや、“おばあさん”ばかり36名。皆さん元気で、若くて、美しいのには驚きました。お話は尽きることなく、歌あり踊りあり“おばあさんパワー”全開した初夏の一夜でした。

年令を重ねる毎に、なつかしい故郷の山や川、素朴な食べ物、の美味しさ、飾り気のない訛りのある言葉…なんとも云えない心温まるものを感じました。

帰りに五泉まで行き、四年間通った蒲原鉄道の廃止跡を眺め、感慨無量でした。

これからも健康に留意して一回でも多く皆さんとお逢いできることを念じながら、健康であることの素晴らしさ、友達の大切さをしみじみ感じたクラス会でした。

佐藤 玲子（東京在住）



2000年5月25日 村松高女第25回卒業生クラス会 於 越後乃御宿 わか竹



高校4回卒・同期会

◎1998年より西暦の偶数年に開催が決まっている、高校第4回卒同期会が、2000年9月10日（日）長野県志賀高原の玄関口、湯田中温泉「よろづや」で59名の参加をえて開催され、20世紀最後の同期会にふさわしく大盛況であった。

村松高校から途中転出された旧友も初参加し、50年ぶりの再会となった。幹事の開会挨拶で「来年は母校の創立90周年記念式典が計画されている」と報告され、私達が高校三年生の昭和26年秋に行われた、創立40周年記念行事を思い出し、半世紀の時の流れをしみじみ噛み締めた。

掲載の記念写真の上部に「歓迎」という文字板の、『同期』の箇所にご注目下さい。実は箱が取り付けられており、開宴に先立ち往年の美少女、美少年の代表が一人ずつ出て二人で紐を引くと、箱から紅白の紙テープが滝のように流れ落ちた。幹事の素晴らしい、オープニング・セレモニーの演出に満場拍手喝采。

信濃路の温泉で深夜まで語り合い、旧交を温めながら懇親を深め気持は少女少女のまゝで、初秋の一夜を満喫した。また、こういう機会を持つことが出来たお互の健康に感謝し、再会を期して解散した。

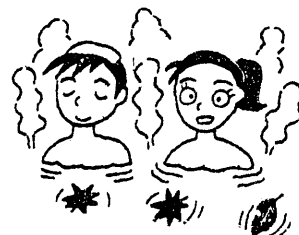
幹事さん、有難うございました。

鈴木 健司（東京在住）



村松高等学校第4回卒業生同期会

平成12年9月10日 於 湯田中温泉 よろづや



(続) 旧陸軍墓地はどうなった

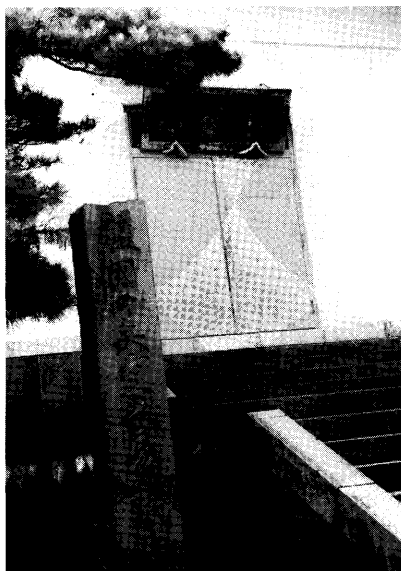
佐伯 益一 (中 27)

◎会報27号に載った「旧陸軍墓地はどうなった」の私の小論が大きな反響を呼んだことに事実驚いている。

そして今度はぜひ現地を訪れてみたいと思っていた。8月12日の本部同窓会に出席する折、早めに深見幹事と共に「愛松園」のある現地へ行った。荒涼とした荒地で当時の面影は全然見られない。脳裏にあるのは昔の面影だけ。近くで畑仕事をしていた人に訊いてみたら、やはり「愛松園」のあるあたりだと言う。遠くに半分枯れかかった背の高い松の木が立っていた。然しあれを切ると祟りがあると聞いているとも言っていた。近くに住宅も無い。また「愛松園」の裏側近くに小川があった筈と思い「愛松園」を訪ねたが、誰も出て来なかったので此処へ行くのは諦めた。



旧陸軍墓地周辺の現在



村松公園にある忠魂堂

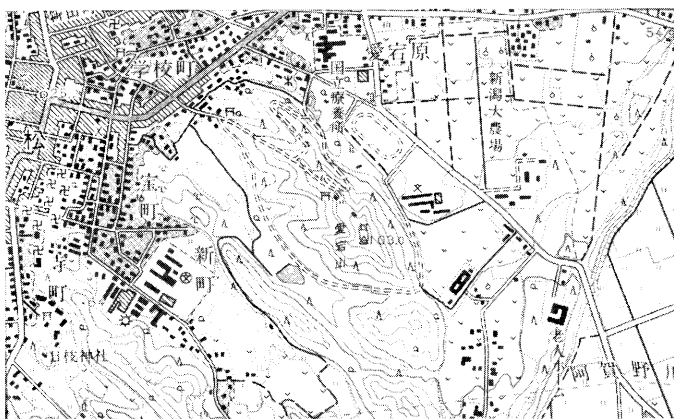


鹿瀬町に現存する忠魂碑

帰りに村松公園の脇を通ったが桜の群れの真ん中辺に白い四角の建物が建っていた。「あれはなんだ？」と訊いたら、タクシーの運転手さんが「あれは戦争で亡くなった英霊を祀ってある建物で、毎年六月に新発田の自衛隊さんが参拝に来られます」と教えてくれた。いつ頃に建ったかは分からぬと言う。早速行って見た。質素な建物だが扉の上方に「忠魂」と書かれた額が飾られており建物の前に「護国の英霊此処に眠る」と彫られた石塔が立っていた。なるほど之かと思ったが内部は分からない。

果たして陸軍墓地の英霊も此処に眠っているのだろうか？村松に居られる旧マドンナ・佐藤静子さんも懸命に協力して下さっているが、未だご返事が無いところを見ると多分わからぬのであろう。それでも半分は納得した。

この度の各位のご協力に厚く御礼申し上げます。



村松・愛宕山周辺図 (国土地理院、2万5千地形図)

雪の4番ホーム

◎雑誌「美術の窓」1999年11月号の東京都美術館便りに、第61回・一水会展の記事が掲載された。
鶴巻 斉（中30・村松在住）氏作「雪の4番ホーム」が紹介された。下記は作品を絵ハガキにしたもの。

“雪の4番ホーム”（雑誌の、コメント）
一段下がったところからホームを見ている。電車が来て二人の若い男女が電車に乗ろうとしているが、その形がシャープで実に面白い点景になっている。



第61回一水会展 (1999) 雪の4番ホーム 鶴巻 斉

石川雄二氏 個展（東京で開催決まる）

◎村松高校第2回卒業生の、石川雄二氏（五泉在住）が古希を迎え、東京で初めて個展を開くことになりました。

石川雄二氏は「一水会」に初入選以来、28回の入選を果たし、現在も会友として活躍されています。

同氏の油絵は“緑と水と空”が美しく調和し、洗練された筆致は定評があり、故郷を想い起こし、心打たれる作品が多く展示されます。

多数の同窓生、同期生、ご家族、知己の方々のご来場をお待ちしております。 杵淵 政海（高2）

…開催要項…

開催日 平成13年9月18日（火）～23（日）
（11:00～18:00 最終日は17:00まで）

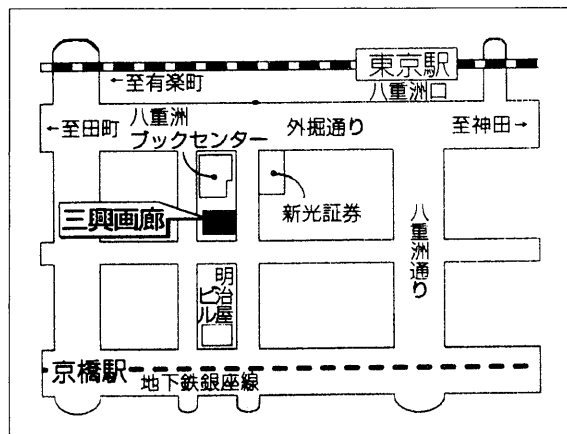
場 所 「三興画廊」

・中央区八重洲2-5-7

電話03-3276-0789

・JR東京駅八重洲南口より徒歩2分

・地下鉄銀座線京橋駅7番口より徒歩2分



（連絡先）

石川雄二

☎ 0250-43-0651

杵淵政海（東京世話人）

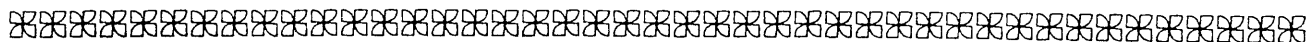
☎ 03-3996-4815

ちょっと変な話

会議の終わったあと一杯飲もうということで居酒屋へ行った。二階へ上がる階段の所で会長と女性役員とが何やら押し問答をしている。「オレはおまえサンの尻をみながら上って行った方が安全なんだ」と会長。「ワタシは会長が上から転がり落ちるのを守るために、うしろに居るの」どちらが妥当かな？

結局は会長が「ヨッコラショ・ヨッコラショ」と言いながら先になって上がって行った。





訃報

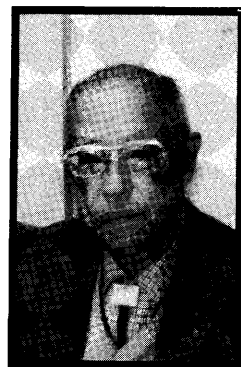
渡辺文男氏、逝く

(元・赤山会会長、旧中12回)

8月下旬でしたが、渡辺文男氏宅からのお便りで氏のご逝去を知りました。去る5月だったそうですが、ごく安らかな死出の旅路に立たれたとの悲しいお知らせでした。私どもが常日ごろ、敬愛して止まぬ方だっただけに惜しみて余りある訃報でした。特にスポーツに限らず、人生での間近の師として慕ってありました大先輩、享年90歳のご一生でした。

故人は村松中学の創部間もない籠球部の育成発展に情熱を注がれ、名古屋高商に進学して目覚ましい活躍をされました。夏や冬の休みには我々後輩の指導にもご来校下され、新技術の導入による名コーチとしてお世話していただいたお陰で、夢にまで見た県大会の優勝を果たし、一躍「村松」の名を挙げた方でした。

勿論、全国大会にも出場し準決勝まで勝ち進んで名声を高めたのは、故人の抜群のご指導の賜物であったと思うと、本当に得難い方であったと改めて痛感しております。名古屋高商卒業後は、松坂屋百貨店に入社されましたが、天賦の才を発揮して副社長になられ、実業界でも大いに活躍されました。



故、渡辺文男氏

退職後は千葉勝浦の別荘に自適して、東京の自宅を往復され東急勝浦のメンバーとして亡くなられるまでゴルフや散策を楽しんでおられました。

また、赤山会の初期の頃には会長としてお骨折り頂いたことや、旧中バスケの集いには年2回、御徒町の松坂屋銀サロンで楽しく歓談したことなど懐かしい思い出になりました。

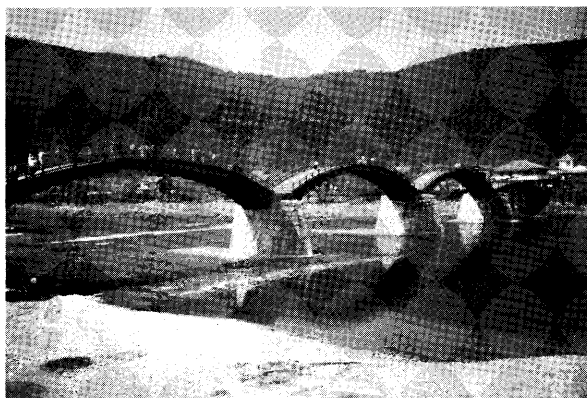
東京同窓会々報21号に「嗚呼栄光の松中籠球部」として拙文を寄稿しておりますが、大黒柱を失った今、バスケ部OB会は中断することになりました。

ご意志により弔意のことは一切なしではありますが、衷心よりご冥福をお祈りするばかりです。 合 掌

(山口 三郎 旧中19回)



ゴールデンゲートブリッジ…全長2780m…
(サンフランシスコ、1937年完成つり橋)



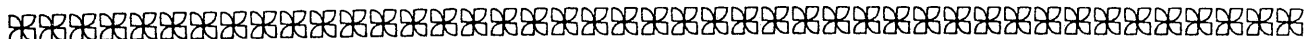
錦帯橋(岩国市、1673年架橋、後に復元)
……全長193.3m、木造アーチ橋……



ちょっと困る話

クラブあたりに飲みに行っていて、煙草を吸いなくなって、やおらポケットから煙草を取り出すと、前に座っているホステスさんが、待ってましたとばかりすかさずライターを差し出し火をつけてくれるそして、すぐに引き込めてしまう。深く吸いこまぬうちだから煙草の火は片想いとなる。

こちらは奥深いソファアールから身を起こし、しかも首を差し延べての格好だから誠に大変なのである。有り難いことではあるが、実は迷惑なのである。これと似たような例は他にもたくさん見られる。煙草の火は自分でつけるのが一番良い (伯)



2000 年 国内の主な出来事

- 1月 1日・東京地方、快晴・最高気温12.6度
4日・東証平均株価 19,002円86銭
10日・多摩都市モノレール、立川北～多摩センター間、開通
15日・新成人、164万人
25日・振興信用組合（八王子市）経営破綻
・吉野川可動堰計画に徳島市の住民投票で90.14%が反対
・9年前から行方不明の女性が柏崎で保護
2月 6日・大阪府、女性知事誕生（全国で初めて）
10日・固体燃料ロケット・M5、打ち上げ失敗（宇宙科学研究所…約184億円パー）
15日・中堅スーパー「長崎屋」倒産
26日・厚生省調査、肥満人口は2300万人
・新潟県警本部長、生活安全部長ら幹部が三川温泉でマージャンと酒宴
3月 3日・農水省課長補佐、香川県農協から接待漬取脂容疑で逮捕
8日・営団地下鉄・日比谷線、中目黒駅近くで上下線が衝突、死傷者35人
19日・新潟県警交通機動隊長らが、交通違反のみも消して懲戒免職
20日・東京都心で瞬間最大風速、26.7m/s
24日・埼玉県本庄市で薬物中毒による保険金殺人容疑で男女4人逮捕される
30日・東京都心の桜開化
・東証一部平均株価20,441円50銭
31日・北海道・有珠山（732m）大噴火
4月 2日・小淵首相、順天堂病院へ緊急入院
4日・自由党から26人抜け保守党を旗揚げ
5日・自民党総裁・森喜朗氏、森内閣発足
7日・渋谷「マークシティ」オープン
19日・J.R沼津駅前で女子高生刺殺される
28日・3月失業率4.9%、失業者349万人
5月 3日・西鉄高速バス乗っ取られ、一人死亡
9日・宗教法人・法の華三法行、870億円を集め詐欺で代表ら幹部12人逮捕される
14日・小淵前首相、脳梗塞のため死去（62歳）
19日・信販会社「ライフ」倒産
26日・第一ホテル倒産 負債額、1152億円
30日・東京都人口5月1日推計、1200万人
6月 9日・関東・東海北陸・近畿地方、梅雨入り
16日・皇太后・良子さま老衰のためご逝去
21日・岡山県で高校生がバットで母親を殺害
25日・衆議院議員選挙（投票率62.49%）
26日・気象庁は「三宅島」に緊急火山情報

- 7月 4日・雪印乳業・食中毒で21工場操業停止
・2000円札発行、図柄＝沖縄守礼門
8日・三宅島「雄山」噴火
12日・大手百貨店「そごう」倒産
17日・関東甲信・東海地方、梅雨明け
21日・沖縄県名護市でサミット開催
26日・三菱自動車工業「リコール隠し」発覚
28日・建設省の水質調査で一級河川の全国ワーストは綾瀬川（埼玉・東京）
8月 6日・湯檜曾川で鉄砲水発生、一人死亡6人けが（東松山市少年サッカー団）
7日・木更津市沖、東京湾に大竜巻が発生
10日・横山ノック前大阪府知事に強制ワイセツ罪で懲役一年六ヶ月執行猶予三年の判決
17日・昨年一年間の自殺者、3万3千48人
・日本人平均寿命、男77歳、女84歳
18日・三宅島「雄山」噴火、1万5千mの噴煙
21日・夏の高校野球・智弁和歌山高校優勝
29日・大正生命、経営破綻
・三宅島噴火で全島避難…小・中・高校生教職員は都立秋川高校へ集団避難
9月 2日・東京地方最高気温、37.8度
5日・北海道・駒ヶ岳（1,131m）噴火
11日・東海地方豪雨、新川が決壊し名古屋水害で20万世帯避難、死者9人
15日・シドニー・オリンピック開会式
開催期間は10月1日まで
16日・東京地方、終日雷雨（17日も続く）
24日・オリンピック女子マラソン、高橋尚子優勝、日本の女子陸上で史上初の金
26日・地下鉄南北線、溜池山王～目黒間開業
・都営地下鉄三田線、三田～目黒間開業
・東海豪雨で「ごみ」7万4千トン
10月 6日・鳥取県西部を中心に震度6の地震発生
・KSD（中小企業経営者福祉事業団）背任容疑で捜索
7日・プロ野球パ・リーグ、ダイエー優勝
10日・千代田生命保険・破綻
・ノーベル化学賞に筑波大の白川名誉教授決まる
20日・協栄生命保険・破綻
26日・非拘束名簿式（参議院比例区）成立
27日・中川官房長官、疑惑や女性問題で辞任
・長野県企業局長が県知事の名刺折り曲げ行為に、全国から1万件以上の抗議
28日・プロ野球日本シリーズ終了、巨人優勝
・サッカーくじ、静岡県で試験販売開始
31日・内閣支持率、15%（毎日新聞調査）

編集後記

明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。

去る九月二日、東京の最高気温が三十七・八度の猛暑の中、編集会議を開いてから百数十日を経て、会報三十号を発行する事が出来ました。同期会・同級会の報告や写真・情報など、たくさんお寄せ頂き誠にありがとうございました。

戦争・大量消費・自然破壊などの人災や、地震・火山噴火・台風などの天災と混乱した二十世紀から新しい二十一世紀へ。

携帯電話やパソコンの通信料を捻出するため、食料や衣料費を削って対応している人が多い現状では、IT関連以外に金が回らず結果として消費低迷に大きな影響を及ぼしています。

会報、臥龍が丘は緑なりも新しい時代に相応しい内容の充実をめざし、皆様からのお便り、寄稿、出来事情報、短歌、詩、俳句などお寄せ頂きたくよろしくお願ひいたします。

…広報委員会…

平成 13 年 1 月 第 30 号

発行人 新潟県立村松高等学校東京同窓会 広報委員会

事務局 〒157-0061 東京世田谷区北烏山 3-13-15-104（八木又一郎 方）

電話・FAX 番号 03-3307-1048